

第97回 定時株主総会



日産車体株式会社

議決権数等のご報告

議決権数等のご報告

第97期末現在の株主総数	3,943名
発行済株式の総数	157,239,691株
議決権を有する株主数	3,466名
議決権総数	1,354,264個

監査役会の 監査報告

招集ご通知の添付書類46頁・47頁を
ご参照ください。

報告事項

1. 第97期（2019年4月1日～2020年3月31日）

事業報告の内容、連結計算書類の内容

2. 第97期（2019年4月1日～2020年3月31日）

計算書類の内容報告

企業集団の現況に 関する事項



NV200
VANETTE



NV150
AD



ELGRAND



NV350
CARAVAN



ARMADA



PATROL



Infiniti QX80

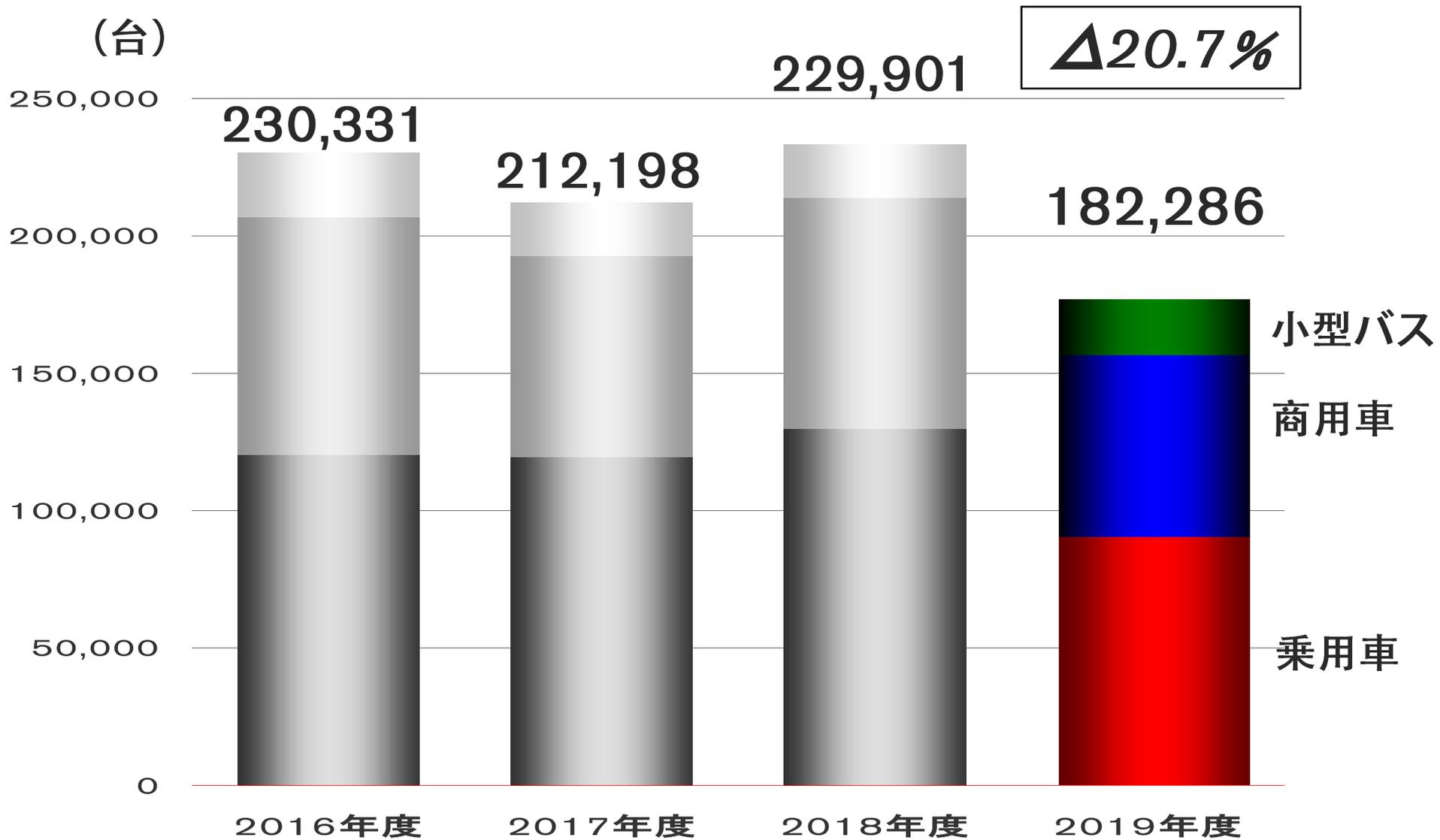


CIVILIAN

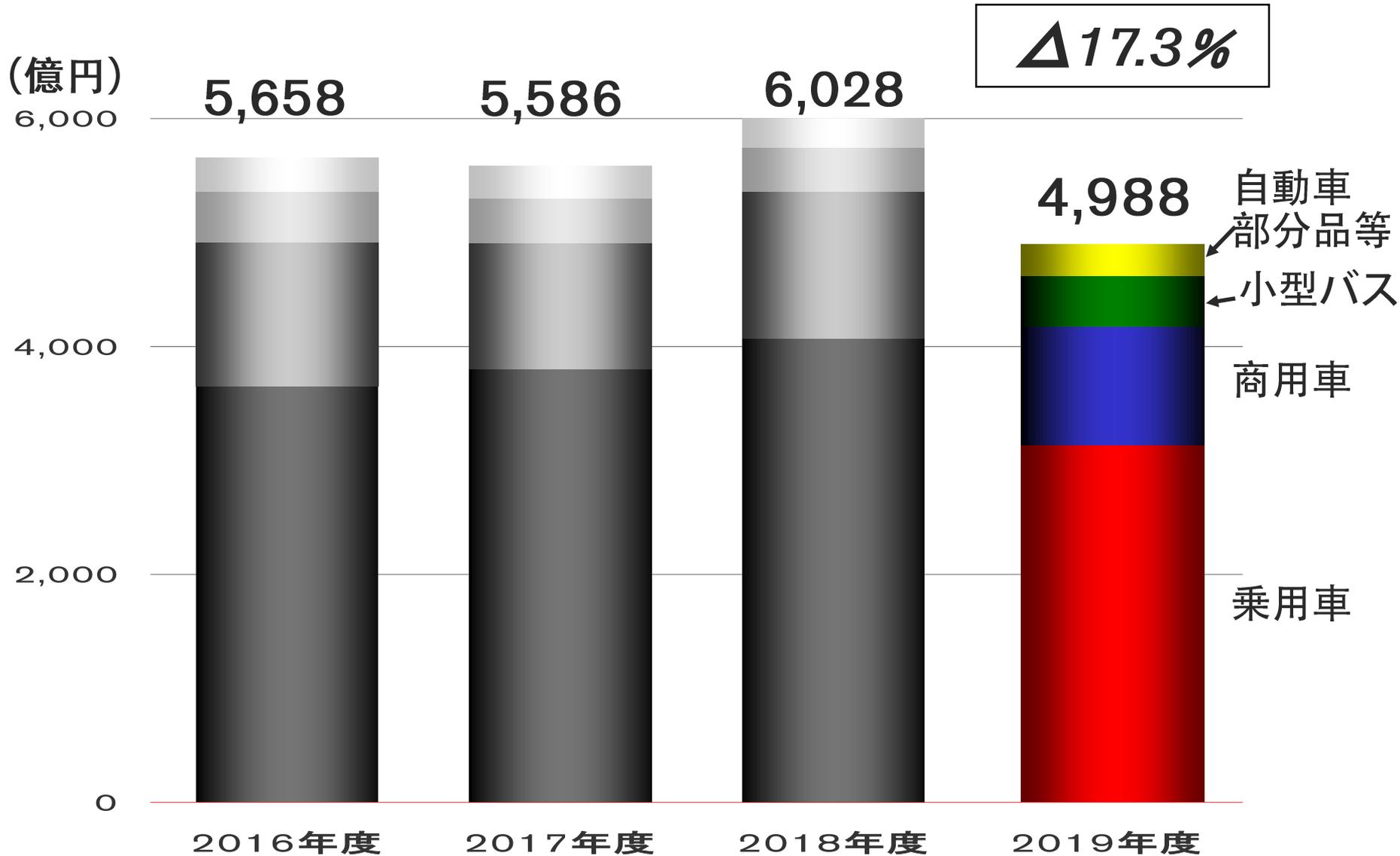


ATLAS F24

売上台数

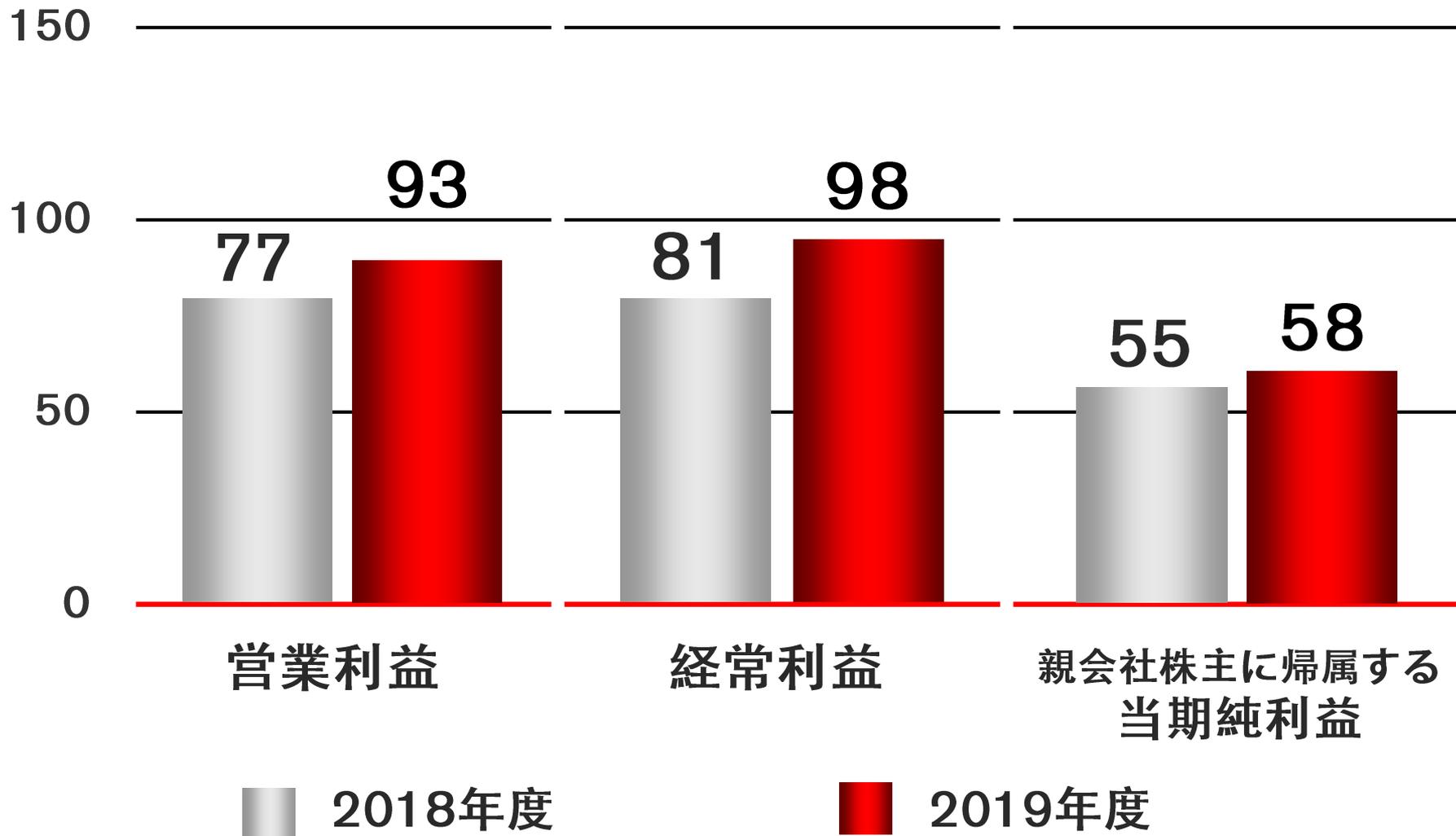


売上高 (連結)



損益の比較（連結）

(億円)



資金調達の状況

設備投資の状況

総額 約84億円

- 新商品、マイナーチェンジによる商品力強化
- 諸設備の合理化及び改善

業務の適正を確保するための 体制等の整備について (内部統制)

招集ご通知の添付書類17頁～23頁を
ご参照ください。

連結計算書類

招集ご通知の添付書類24頁～31頁を
ご参照ください。

連結貸借対照表

2020年3月31日現在

連結貸借対照表 (概要)

(億円)

科 目	金額	前期比	科 目	金額	前期比
資産の部	2,647	△38	負債の部	959	△65
流動資産	2,077		流動負債	808	
固定資産	569		固定負債	151	
有形固定資産	499		純資産の部	1,687	+27
無形固定資産	10		株主資本	1,711	
産 投資その他の資	59		資本金	79	
			資本剰余金	85	
			利益剰余金	1,774	
			自己株式	△226	
			その他の 包括利益累計額	△24	
合 計	2,647		合 計	2,647	

※詳細は招集ご通知の添付書類24頁をご参照ください。

※記載金額については、億円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

連結損益計算書（概要）

（億円）

科 目	金 額
売 上 高	4,988
売 上 原 価	4,821
売 上 総 利 益	166
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	73
営 業 利 益	93
営 業 外 収 益	7
営 業 外 費 用	2
経 常 利 益	98
特 別 利 益	0
特 別 損 失	12
法 人 税 等 合 計	27
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	58

※詳細は招集ご通知の添付書類25頁をご参照ください。

※記載金額については、億円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等 変動計算書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

招集ご通知の添付書類26頁・27頁を
ご参照ください。

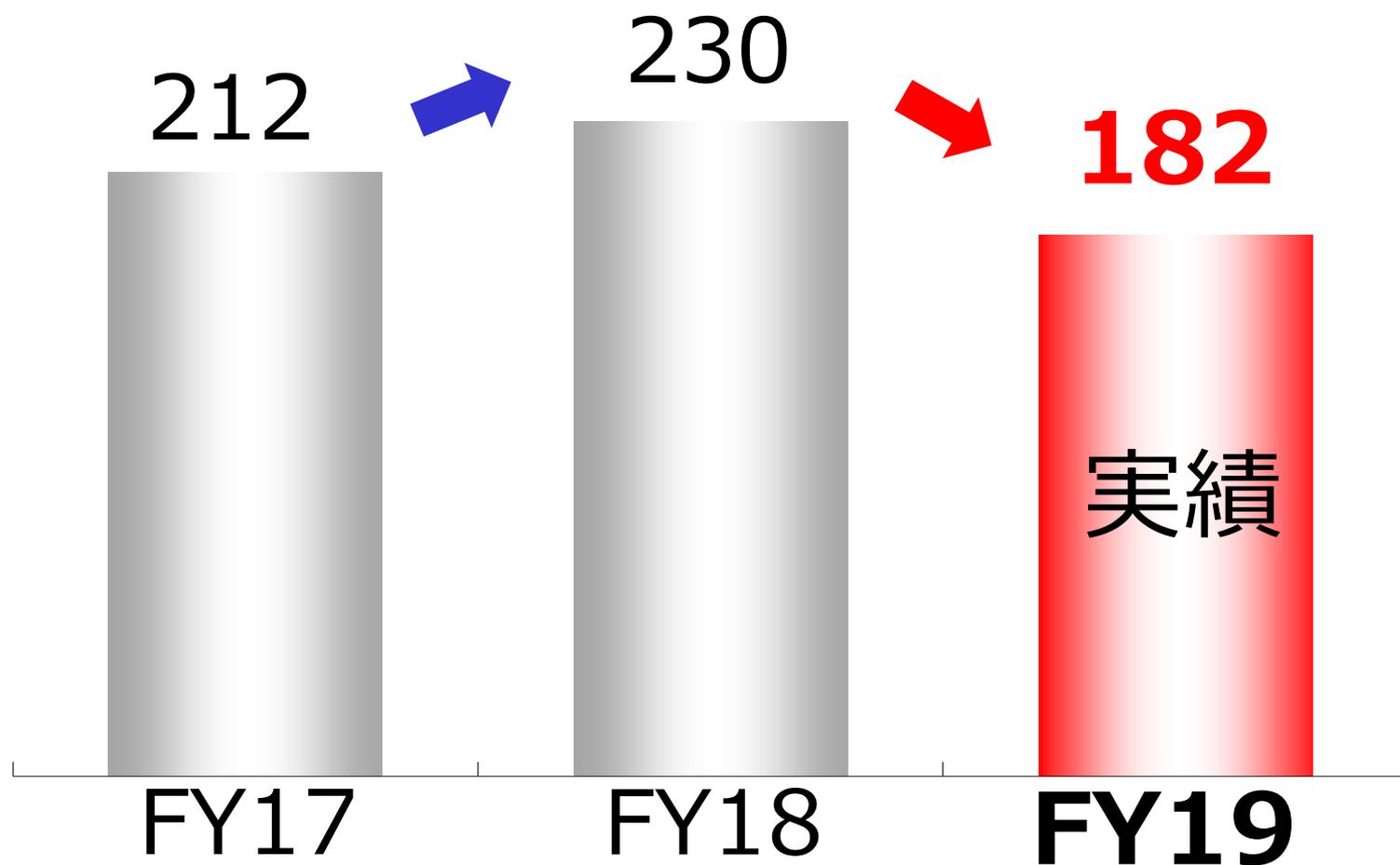
計算書類

招集ご通知の添付書類32頁～41頁を
ご参照ください。

対処すべき課題

2019年度振り返り

生産台数 年度実績 (千台)



2019年度振り返り

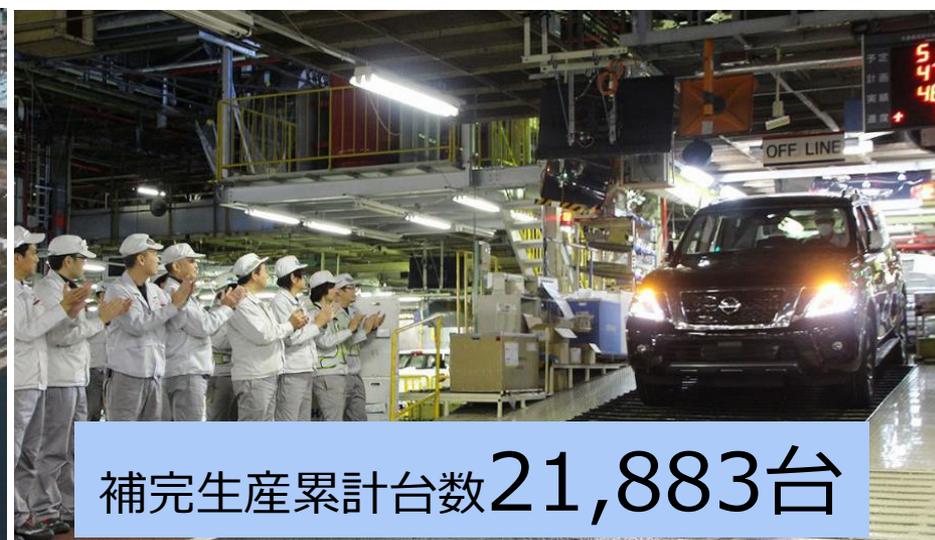
生産体制

日産車体九州

湘南



2班2交替勤務に変更
(2019.6月～)



補完生産累計台数21,883台

アルマーダ補完生産終了
(～2020.1月)

再発防止策14項目93アイテムの全て、 実行フェーズ移行を完了

最適な完成検査ライン構築完了（電子化スタート）



タブレット端末



大型モニター

2019年度振り返り

商品の競争力

新型車 中東向けパトロール マイナーチェンジ

外観変更と新ナビゲーションシステムなどを採用



2画面(8+7インチ)

2019年度振り返り

商品の競争力

新型車

NV200 国内 マイナーチェンジ

歩行者も検知する衝突被害軽減ブレーキ等を採用
⇒日産車体の国内車が全て「サポカー補助金」対象

HBA (ハイビームアシスト)



FEB (エマージェンシーブレーキ)



TSR (交通標識検知)

車両進入禁止標識

一時停止標識

最高速度標識



LDW (車線逸脱警報)



2020年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

今年度の新型車イベント



経済活動の再開と共に、販売台数巻き返しを図る

2020年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

日産圏 品質トップレベルの維持

<国内市場の初期品質>



NV200
VANETTE

NV150
AD

NV350
CARAVAN

	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19
1位								
2位					ノート			
3位			キューブ	ノート	キューブ		ノート	

湘南工場 & 日産車体九州

- ・北米市場品質No.1
- ・品質重点課題改善活動



品質

- ・設備総合効率向上

コスト

スピード

- ・固定費適正化
- ・最適な人員計画

工場の競争力強化に継続して取り組む

2020年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

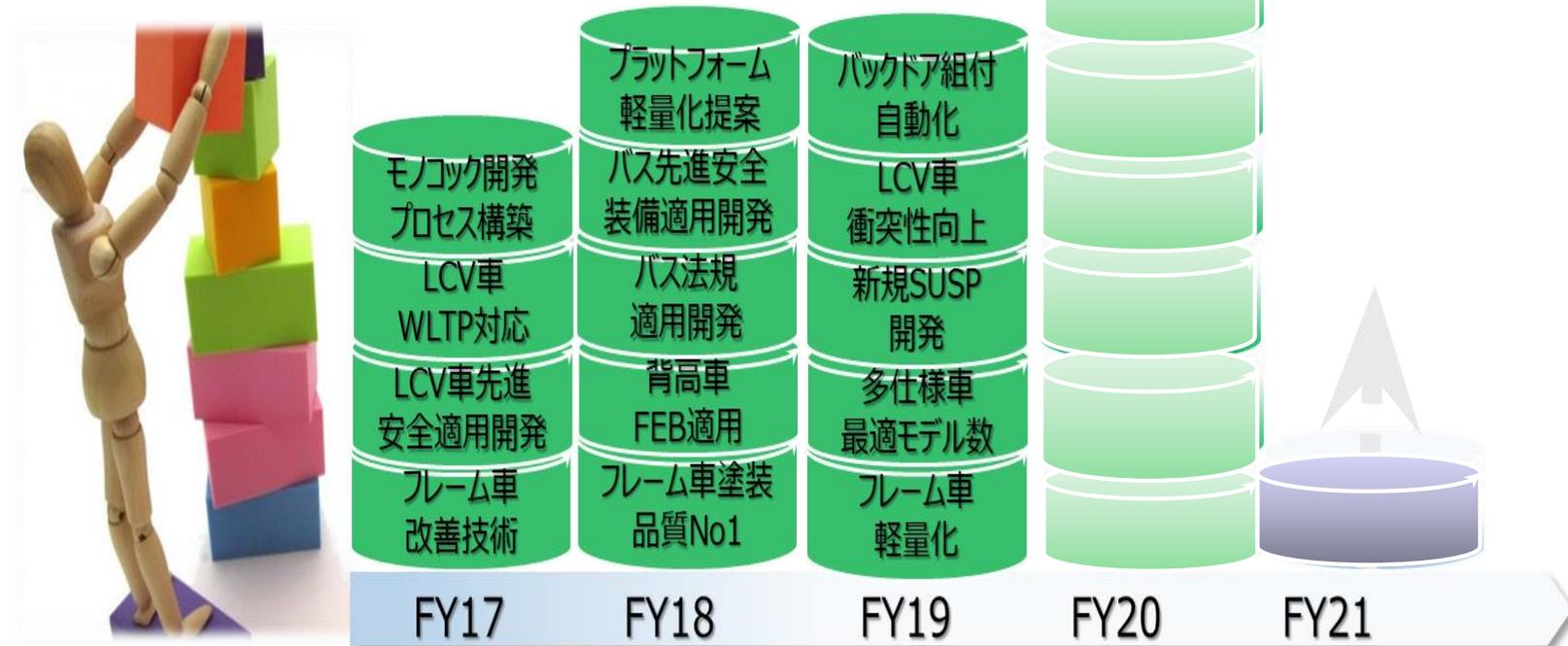
すべての活動を支える基盤

2020年度取り組み 技術・技能の競争力

オフロード走破性向上

新フレーム構造開発

バックドア組付自動化



更なる先進安全技術適用、SUV走破性向上、等に取り組む

2020年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

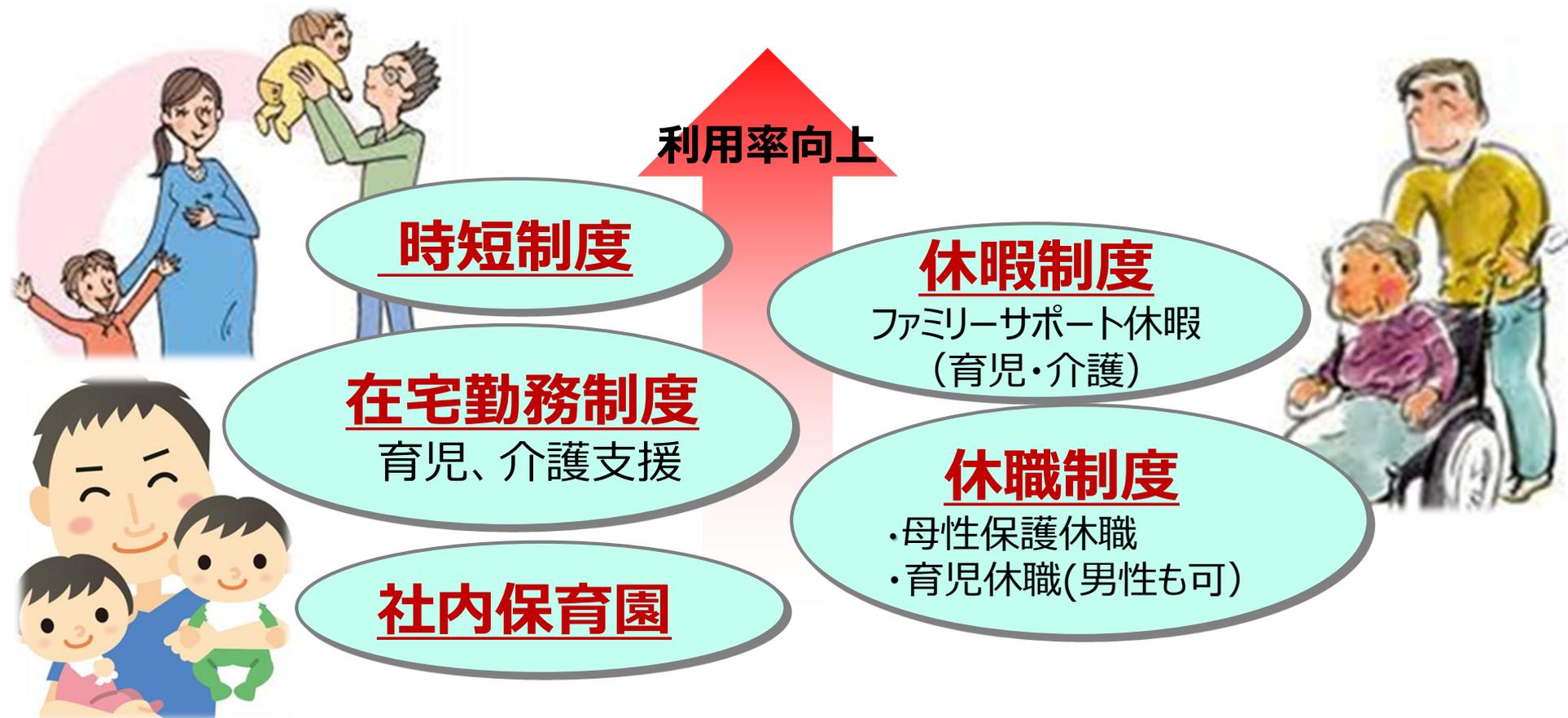
品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

ダイバーシティの促進 「誰もが働きやすい職場の実現」

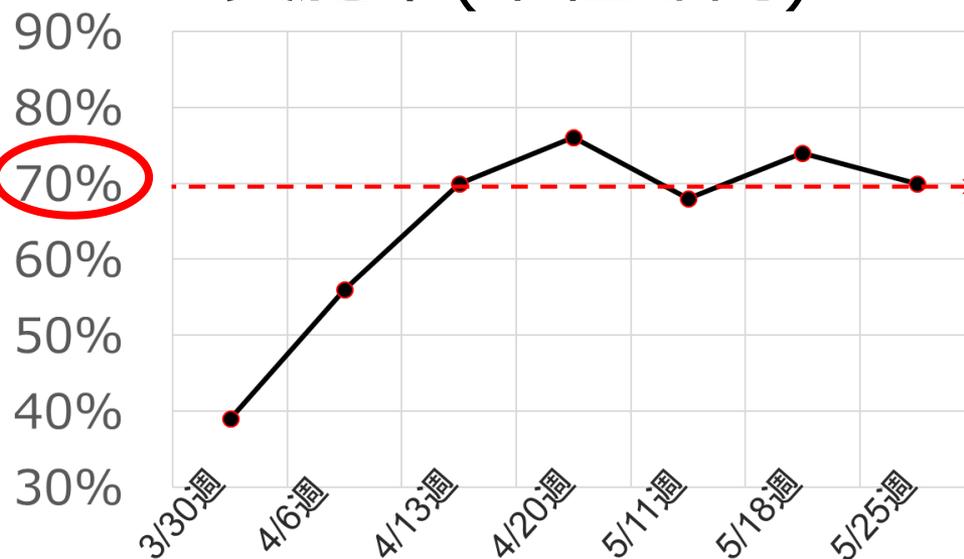


各種制度を利用しやすい環境づくり

在宅勤務の拡大・継続



<実施率(本社部門)>



- ・実施率70%達成を継続
- ・収束後も取り組み継続し、働き方改革に繋げる

新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援活動 1

医療現場支援として、以下活動を実施

- 1)フェイスシールドを社内製作し提供（神奈川県；1000個 平塚市；490個）
- 2)フェイスシールド構成部品を3Dプリンターで製作（日産他社と共同;660個/週）
- 3)防塵マスクを寄贈（1,365枚、車体工業会経由）
- 4)軽症者搬送用にNV350を架装し提供



新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援活動 2

医療現場支援として、以下活動を実施

5)医療従事者向け「ガウン」を製作（神奈川県：2500枚、福岡県：5000枚）



医療従事者用ガウン



シート裁断



溶着

事業所内のコロナウイルス感染予防対策

国、経団連の感染予防 指導要領を順守

- 1) 検温 (毎朝)
- 2) マスク着用 ※自給を目指し社内製作
- 3) 手洗い (7回以上/日)
- 4) 殺菌消毒
- 5) 換気
- 6) 在宅勤務拡大 (本社部門)
- 7) 3密回避(リモート会議、時差出勤等)
- 8) 飛沫感染防止パーテーション設置



2) 自給用マスク製作



8) 飛沫防止パーテーション



事務所



食堂



対処すべき課題

第97回 定時株主総会



日産車体株式会社